

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	Multi-loop traction device を用いた胆管挿管の有用性および安全性に関する後方視的検討		
1. 研究の目的と方法	内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)は、十二指腸にある胆管の出口(乳頭部)から細い管やワイヤーなどの処置具を挿入し、胆管や膵管の検査・治療を行う内視鏡手技です。ERCP は難易度の高い手技であり、患者さんによっては乳頭部の位置や向きの影響により、胆管へ処置具を挿入することが難しい場合があります。 Multi-loop traction device(MLTD)は、もともと内視鏡で早期がんを切除する際の輪ゴムのようなデバイスで、このデバイスを用いて病変を周囲の粘膜に寄せて牽引することで、内視鏡的に切除しやすい状態にするために開発されました。この器具を乳頭部周囲の粘膜に取り付けて乳頭部の向きを調整することで、胆管への処置具の挿入を補助できる可能性があります。 本研究では、当院で ERCP を受けた患者さんのうち、MLTD を使用した患者さんを対象として、診療録、内視鏡検査記録および検査画像などに記録されている情報を過去にさかのぼって調査します。具体的には、年齢、性別、基礎疾患、検査・治療内容、胆管への処置具挿入の成否、処置時間、処置に伴う合併症などの情報を収集し、MLTD を用いた手技の治療成績と安全性について検討します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2030 年 03 月 31 日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2016 年 01 月 01 日～2026 年 07 月 31 日の間に東京慈恵会医科大学附属病院にて内視鏡的逆行性胆管膵管造影の治療（検査）を受けた 18 歳以上の方。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、内視鏡画像、透視画像、内視鏡レポート）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(1)の研究責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座
		氏名	砂山 学
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	

	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1) の研究責任者と同じ
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 9 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 内視鏡医学講座 研究責任者：大学院生 砂山 学（すなやま まなぶ） 電話番号：03-3433-1111 内視鏡医局（内線：2665） 対応時間：平日 09：00 ～ 17：00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。